

## 8月の産業機械受注、外需が52.5%減少

Edited By LogisticsToday On 2016/10/11

日本産業機械工業会は11日、8月の産業機械受注状況を発表した。8月の受注高は3107億1100万円（前年同月比31.5%減）で、内需が2122億5000万円（13.9%減）、外需が984億6100万円（52.5%減）となった。

内需のうち、製造業向けは1.1%減、非製造業向け39.4%減、官公需向け1.6%増、代理店向け6.4%増だった。

増加した機種は化学機械（9.5%増）、タンク（77.4%増）、プラスチック加工機械（24.4%増）、ポンプ（29.5%増）、送風機（1.5%増）、運搬機械（0.1%増）、金属加工機械（38.7%増）の7機種で、減少したのはボイラ・原動機（45.3%減）、鉱山機械（17.7%減）、圧縮機（1%減）、変速機（2.7%減）、「その他機械」（69.4%減）の5機種。

外需のうち、プラント案件はなかった。増加した機種は鉱山機械（89.2%増）、ポンプ（49%増）、運搬機械（99.4%増）、その他機械（2.8倍増）の4機種で、減少したのはボイラ・原動機（32.8%減）、化学機械（90%減）、タンク（77.4%減）、プラスチック加工機械（7.3%減）、圧縮機（50.8%減）、送風機（91.9%減）、変速機（13.4%減）、金属加工機械（62.8%減）の8機種。

機種別では、ボイラ・原動機が電力、外需の減少で42.5%減、鉱山機械が窯業土石、建設の減少で6.3%減、冷凍機械を含む化学機械が外需の減少で57.3%減、タンクが石油・石炭、非鉄金属の増加で8.1%増となった。

プラスチック加工機械が電気機械、自動車、その他製造業の増加で5%増、ポンプが官公需、外需の増加で33.9%増、圧縮機が外需の減少で30.2%減、送風機が外需の減少で49.7%減。

運搬機械が外需の増加で26.9%減、変速機が建設、運輸・郵便、外需の減少で4.5%減、金属加工機械が外需の減少で31.2%減となった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/258638>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.